

東北学院大生48人寒河江、天童、上山で援農

大学、JAも後押し

【山形中央】仙台市の東北学院大学の学生48人が6月下旬、寒河江、天童、上山の3市でサクランボの収穫を手伝った。同大学からの援農ボランティアは初めて。2日間で延べ約70人が作業をし

た。寒河江市中河原の三泉観光さくらんぼ管理センター長、渡辺敏幸さん(77)の園地では、経済学部3年の工藤華奈映さん(21)と工藤花菜さん(21)が、ベトナムから

山形大学大学院に留学中の女子学生と共に、サクランボの実を傷めないように丁寧に収穫した。渡辺さんは「猫の手も借りたいほどの忙しさなので助かる」と話した。大学側が大型バスで送

迎し、受け入れ農家は昼食を提供。作業後の温泉利用料はJAグループが負担する。



サクランボを収穫する東北学院大生（山形県寒河江市で）